

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共交通対策事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	道路運送法・鳴門市地域バス運行条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 20 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		交通			
施策	5	新しい公共交通網の確立			
基本事業	2	公共交通機関の確保と整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	地域バス・協定路線(徳島バス)の利用者等														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民生活に必要な移動手段は基本的に確保するとの方針のもと、将来的に持続可能な新しい公共交通体系の確立を図る。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	①地域バス並びに協定路線について、継続的に利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容の見直し検討等を行う。 ②市民参画・市民協働による地域が主体となった移動手段の確保への取り組みを支援するため、地域住民と協議を行いながら事業化の可否等についても検討していく。検討の結果により試験運行や本格運行へ向けた支援を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再編済み路線数(全7路線)</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>本</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	再編済み路線数(全7路線)	7	7	7	7	7	本
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
再編済み路線数(全7路線)	7	7	7	7	7	本										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定路線の乗客調査を実施した。</li> <li>他のバス路線やJR四国との乗り継ぎを改善し、利用者の利便性向上を図るため、協定路線の大麻線及び鳴門公園線について時間変更を実施した。</li> <li>協定路線の北泊線について便数見直しの検討を行った。</li> </ul>						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地域バス・協定路線乗車人数	231,769	236,669	236,669	236,669	236,669	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	再編済み路線数(全7路線)		7	7	-	-	-	本
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	1,300	136,940	138,240
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	1,300	136,940	138,240
		決算額	0	0	0	1,086	136,028	137,114
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		1.3	0.0		9,517		146,631	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	138,461	137,114	147,770	147,770	147,770
	うち一般財源	137,268	136,028	146,578	146,578	146,578
	人件費	9,404	9,517	9,517	9,517	9,517
	総事業費	147,865	146,631	157,287	157,287	157,287

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		交通弱者等が生活するうえで、必要な交通手段は市が行うべき事業であるため、当該事業は必要不可欠であり、利便性向上において、今後も事業見直し等を行う。
	効率性	A:効率的だった		市民の生活の足を確保するため、これまで市営バスが運行してきたバス路線の維持を図るものであり、再編は完了したが一層の路線の効率化をはかる。
②成果に対する評価	指標名	再編済み路線数(全7路線)		路線再編に関しては完了したが、各路線において効率性向上の余地があるとの認識をもって取り組む。
	目標	7	本	
	実績	7	本	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		新たな公共交通の構築には至っていないため、評価をBとしたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	乗客調査を行い、利用実態の把握に努め、路線の効率化を検討する。 市民との協働による新たな公共交通を検討を行いながら、地域が主体となって自らが作り育てるとい う意識の醸成に努める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	乗客調査を行い、利用客の実態把握に努め、協定路線の便数見直しを行う。 市民との協働による新たな公共交通を検討する。			
	R2年度	見直しを行った路線も含め、利用状況等の調査を行い、実態把握に努める。 市民との協働による新たな公共交通を検討する。			